

2022年10月18日

## ダイナミック ポジショニング（自動船位保持）訓練コースを拡張 ～洋上風力発電関連の各種船舶訓練カリキュラムを提供～

MOL マリン&エンジニアリング株式会社（社長：中島孝、本社：東京都港区、以下「当社」）は、経済産業省資源エネルギー庁の「令和4年度洋上風力発電人材育成事業費補助金」公募採択を受け、MOL DP（ダイナミックポジショニング：自動船位保持）トレーニングセンター（注）の訓練コースを拡張し、今後洋上風力発電事業で中心的に見込まれる船舶のDP操船要員の育成に取り組めます。

現在当社で運用している DP シミュレーターは、①CLV（Cable Laying Vessel：海底ケーブル敷設船）、②AHTSV（Anchor Handling Tug Supply Vessel：アンカー作業タグ補給支援船）の船舶モデルを導入しており、更に、③WTIV（Wind Turbine Installation Vessel：洋上風力発電設備設置船（SEP 船）、④SOV（Service Operation Vessel：保守作業支援船）のモデルを加え、実務に即した訓練カリキュラムを広く提供するものです。

当社は今後株式会社商船三井（社長：橋本剛、本社：東京都港区）と連携し、DPオペレーター認証を持つ船員（航海士）、同等の技量を持つ作業船操船要員、DP 船メンテナンス認証を持つ船員（機関士）、同等の知識・技術を持つ保守整備要員の人材育成に広く取り組むことで、今後増加が見込まれる洋上風力事業の各分野における作業船の安全運航や工事作業の安全性確保、更に国内における技術の高い DP 操船要員の確保・育成に寄与していきます。

（注）当 DP トレーニングセンターは本社内にあり、The Nautical Institute（本部：イギリス、以下「NI」、読み：ノーティカル インスティテュート）の認証を得た日本初のトレーニングセンターです。DP オペレーター（DPO）資格取得に必須であるトレーニング修了証書の発行が可能です。





CLV：海底ケーブル敷設船  
(提供：国際ケーブル・シップ株式会社)



AHTSV：アンカー作業タグ補給支援船



WTIV：洋上風力発電設備設置船 (SEP 船)



SOV：保守作業支援船

<商船三井グループが設定した5つのサステナビリティ課題>

商船三井グループでは、事業を通じて優先的に取り組むべき社会課題として特定した「サステナビリティ課題」への対応を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献します。本件は、5つのサステナビリティ課題の中でも特に「Environment -海洋・地球環境の保全-」と「Innovation -海の技術を進化させるイノベーション-」にあたる取り組みです。



<本件に関するお問い合わせ先>

MOL マリン&エンジニアリング株式会社  
DP シミュレーター部  
Email：MOLMEC-DPTC@molgroup.com